

		中学校・高等学校			中学校・高等学校		
育てたい能力		1	2	3	4	5	6
英語で表現できる実践的な運用能力	<聞くこと> 場面や状況、背景、相手の表情などを踏まえて、話し手の伝えたいことを把握することができる力	① ゆっくり話されているときに、強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴を捉え、正しく聞き取ることができる。 ② 話し手に聞き返すなどして内容を確認しながら理解することができる。	① ややゆっくり話されたときに、強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴を捉え、正しく聞き取ることができる。 ② 自然な口調で話されたり読まれたりする英語を聞いて、情報を正確に聞き取ることができる。	① リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞くことができる。 ② 事物に関する紹介や対話を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 ③ 事実と意見を区別して聞くことができる。	① リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞くことができる。 ② 事物に関する紹介や対話を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 ③ 事実と意見を区別して聞くことができる。	① 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら聞くことができる。 ② 事物に関する紹介や報告、対話や討論を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりすることができる。 ③ 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。	① 社会的な話題や時事問題について話されている対話や討論などを聞いて、情報や考えなどの要点や詳細を捉えることができる。
	<話すこと> 場面や状況、背景、相手の反応などを踏まえて、自分が伝えたいことを伝えることができる力	① 強勢、イントネーション、区切りなど基本的な英語の音声の特徴を捉え、正しく発音することができる。 ② 身の回りのことについて、聞き手に簡潔に伝えることができる。 ③ 身近なテーマについてスピーチをすることができる。	① 基本的な英語の音声の特徴を捉え、必要に応じて日本語との差異を意識して、正しく発音することができる。 ②-1 自分の考え、気持ち、事実などを聞き手に適切に伝えることができる。 ②-2 つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けることができる。 ③ 体験したことなどについてスピーチをすることができる。	① 基本的な英語の音声の特徴をとらえ、正しく発音し、意図や感情を明確に伝えることができる。 ② 自分の考え、気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えることができる。 ③ 与えられたテーマについて自分の意見や主張を加えてスピーチをすることができる。	① リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら話すことができる。 ② 事実と意見を区別して話すことができる。 ③-1 与えられた話題について、即興で話すことができる。 ③-2 聞き手や目的に応じて簡潔に話すことができる。 ④ 発表の仕方や発表のために必要な表現などを学習し、実際に活用することができる。	① 英語の音声的な特徴や内容の展開などに注意しながら話すことができる。 ②-1 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見を述べることができる。 ②-2 説明や描写の表現を工夫して相手に効果的に伝わるように話すことができる。 ③ 与えられた条件に合わせて、即興で話すことができる。 ④ 発表の仕方や討論のルール、それらの活動に必要な表現などを学習し、実際に活用することができる。	②-1 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合うことができる。 ②-2 伝えたい内容を整理して論理的に話すことができる。 ③ 聴衆の様子を見て、発表の内容を即興で調整することができる。
	<読むこと> 場面や状況、背景、相手の表情などを踏まえて、書き手の伝えたいことを把握することができる力	① 書かれた内容を、その内容が表現されるように音読することができる。 ② 会話文や物語のあらすじなどを読み取ることができる。 ③ 文字や符号を識別し、正しく読むことができる。	① 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読したりすることができる。 ② 物語のあらすじや説明文の大らかな部分などを正確に読み取ることができる。	① 書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように聞き手を意識して音読したりすることができる。 ② 話の内容や書き手の意見などに対して感想を述べたり賛否やその理由を示したりすることができるよう、書かれた内容や考え方を捉えることができる。	① 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読むことができる。 ② 聞き手に伝わるように音読することができる。 ③-1 説明や物語などを読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点を捉えたりすることができる。 ③-2 事実と意見を区別して読むことができる。	① 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら読むことができる。 ② 聞き手に伝わるように音読や暗唱をすることができる。 ③-1 説明、評論、物語、随筆などについて速読したり精読したりするなど目的に応じた読み方をすることができる。 ③-2 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら読むことができる。	① 社会的な話題や時事問題、自分の専門的な分野について書かれている説明や評論などの必要な情報や論点を読み取ることができる。 ② 目的に応じた読み方を選択して、正確に読むことができる。
	<書くこと> 場面や状況、背景、相手の反応などを踏まえて、自分が伝えたいことを伝えることができる力	① 自分や身の回りのことについて書くことができる。 ② 語と語のつながりなどに注意して、正しく文を書くことができる。 ③ 文字や符号を識別し、語と語の区切りなどに注意して正しく書くことができる。	① 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の考えや気持ちなどを書くことができる。 ② 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を適切に書くことができる。	① 身近な場面における出来事や体験したことなどについて、自分の意見や主張を加えて書くことができる。 ② 自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して正しく文章を書くことができる。	① 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら書くことができる。 ②-1 事実と意見を区別して書くことができる。 ②-2 読み手や目的に応じて簡潔に書くことができる。 ③ 書いた内容を読み返して校正することができる。	① 説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように書くことができる。 ②-1 論点や根拠などを明確にしながら書くことができる。 ②-2 主題を決め、様々な種類の文章を書くことができる。 ③ 書いた内容を読み返して、読み手を意識して推敲することができる。	① 文章の構成を考えながら書くことができる。 ②-1 図表との関連を考えながら書くことができる。 ②-2 自分の専門的な分野について、複雑な内容の文章を書くことができる。 ③ 書いた内容を読み返して、論理性を意識して推敲することができる。
	<4技能の統合>	① 質問や依頼などを聞いて適切に応じることができる。 ② 伝言や手紙などの文章から書き手の意向を理解し適切に応じることができる。	① 聞いたり読んだりして、メモをとったり、感想、賛否やその理由を書いたりなどすることができる。	① 聞いたり読んだりしたことなどについて、問答したり意見を述べ合ったりすることができる。	① 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり、意見の交換をしたりすることができる。 ② 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。 ③ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理して発表することができる。	① 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、話し合うなどして結論をまとめることができる。 ② 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて、まとまりのある文章を書くことができる。 ③ 聞いたり読んだりした内容について、そこに示されている意見を他の意見と比較して共通点や相違点を整理したり、自分の考えをまとめ、発表することができる。	① 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表することができる。 ② 発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりすることができる。 ③ 相手の立場や考えを尊重し、互いの発言を検討して自分の考えを広げるとともに、課題の解決に向けて考えを生かし合うことができる。